

コワイ「顎関節症」

アゴのズレは全身に影響します。

「食えるときアゴが痛い」「口を開けるとアゴが痛い」「アゴがギシギシする」、こんなことはありませんか？また、特別な原因もないのに頭痛や耳なり、肩こりなどの慢性症状がありませんか？

これらの症状に心あたりのある人は「顎関節症」を疑ってみましょう。歯に関する最近話題の病気です。

うまく噛めない、発音がおかしい

アゴの関節がずれると、そのズレは全身に影響します。負担が首から手足へとひろがるからです。代表的な症状が3つあります。

- ・大きく口を開けられない
- ・口を開けるとアゴが音をたてる
- ・ものを噛むとアゴが痛い

アゴは前歯で1g、奥歯で5gの微妙な力に反応します。ちょっとした関節のズレが、わたしたちを毎日苦しめる原因になります。

噛み合わせのズレは要注意

噛み合わせがおかしいとアゴの骨やアゴの筋肉に異常な力がかかり、口を開けるとアゴの関節がカクカクと音をたてたりします。ときには口を開けないほどの激しい痛みが起きることもあります。これが顎関節症(がくかんせつしょう)です。



歯の病気はむし歯や歯周病だけではなく、歯や口に関係した筋肉や神経、関節などの問題から起こる病気もあります。

食事はよく噛んで食べ、いつも歯や口の状態が健康であるように定期検診を受け、噛み合わせにも注意しましょう。